

次号予告

学会創立40周年記念特集「ORの適用事例」

日本OR学会は今年創立40周年を迎えました。それを記念しての企画です。ORを実際の問題に適用した例を30組の方々に報告していただきます。シミュレーション、数理計画法、待ち行列理論、AHPなど、個別のOR手法を適用した例、数理モデル分析の考え方を取り入れた意思決定の例、など多彩な事例が集められています。執筆者の所属企業は建設、石油、鉄鋼、電機、輸送、金融、通信、エネルギー、サービスなどあらゆる産業分野に及んでいます。

編集後記●身近な範囲の話であるが、最近は電子メールを利用できる環境にいる人が本当に増えているように思う。実際、本誌の編集委員会などでも、大抵の事務的な連絡や、時には、それほど難しくはない議題などを議論するためにメールを活用して行っており、編集会議そのものを簡素化するために大いに役立っているように思われる●個人的には、いくつかのメイリングリストに加入していたりして、通常平日ならば、毎日20通程度のメールを受け取ることが普通である。これも便利なもので、自分の興味のある内容について、非常の深いレベルでの議論や情報交換に自由に参加できる。(最近「参加」などともあまり自信を持って言えないが)●ところが、こんなに有用なメールでも困ることがないわけではない。まず、仕事がちょっと忙しくなってくると、つい処理を忘れてしまう。しかも悪いことに、処理を滞らせるとすぐに大量のメールが溜って、一層処理がおっくうである。後で、突然返事の催促が届き、あせることがしばしばある。重要な会

議の出席確認だったりしたら冷や汗ものである。また、これと反対に、仕事でとても重要なメールを送付して何も返事が帰って来ないと心配になる。どうしても確実に連絡をつけたいのなら、電話をかけた方がずっと安心できるような気がする●メールは確かに便利であるが、最後は結局、そのような環境にいかにも適合すべく努力するか、あるいは、いかに上手に使いこなしていくかを組織的に教育していくか、ということが問題になるのではないだろうか。さもなければ、大量に来るメールを自動的に分類して、すぐに返事が必要なもの、重要なものは最優先で読ませる、もしくはそれを読んで聞かせてくれる、そんな賢いメイラーなどは早くできないものかなあ…などと、つらつらつまらないことを考えてしまう。そして、今日もたくさん届く、メイリングリストのメールを斜め読みして、保存し、ハードディスクのこやしをせっせと増やす毎日なのである… (佐賀井重雄)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 逆瀬川浩孝(早稲田大学) **副委員長** 山上伸(東京ガス株)、山下勝比掬(株東芝)、大山達雄(埼玉大学)
委員 伊藤裕康(株富士通研究所)、上田徹(成蹊大学)、葛山康典(早稲田大学)、國澤直樹(東京電力株)、栗田治(慶応義塾大学)、佐賀井重雄(助電力中央研究所)、外嶋成留(住友金属工業株)、田口東(中央大学)、田中宏和(さくら総合研究所)、中里宗敬(青山学院大学)、西尾チヅル(筑波大学)、水野眞治(統計数理研究所)、矢島安敏(東京工業大学)、山下英明(駒澤大学)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成9年4月号 第42巻 第4号 通巻436号

代表者 刀根 薫

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 逆瀬川 浩孝

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円(本体924円, 郵送料含) 年間予約購読料11,040円(税・郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)、日経弘報社(3563-2241)へ